

令和5年度 第2回近江八幡市人権擁護審議会 議事録

日時：令和6年3月18日（月）14：00～15：00

場所：近江八幡市役所4階 第1委員会室

1. 開 会

会長挨拶

2. 協議事項

人権啓発冊子「青空Ⅶ」について（資料1～2）

事務局：資料1・2で説明

会 長：前回の審議会で出た意見を反映させたもの。人権啓発のための重要な冊子となる。

1ページでは、人権とは何か、をしっかりと説明している。「障がいのある人の人権」の合理的配慮については、重要な概念であるがほとんど認知されていない。きちんと周知しないといけないが、ここにしっかりと盛り込まれた。「外国人住民の人権」ではヘイトスピーチに関する記載が入った。これらが大きな変更点である。

委 員：『障がい』の「がい」がひらがなになっているのは非常に嬉しい。漢字だと「害」ととらえられる場合がある。

委 員：外国人のところの「やさしい日本語」については、国際協会が作成したパンフレットもわかりやすいので活用していただけるとよい。この概念が広がるとよい。

会 長：やさしい日本語は、外国人に限らず誰が相手でも非常によいものである。

9ページの「障がいの社会モデル」に関する記載は、障がい者の生きづらさは、個人の障がいによるものという考え方から、社会にあるバリアによるという考え方に代わってきていることが、合理的配慮とあわせてしっかり記載できている。

14ページのトランスジェンダーの説明では、出生時に割り当てられた性と、自分が認識している性が異なるとの記載に変更された。

15ページでは、今年から近江八幡市で始まったパートナーシップ宣誓制度についても盛り込まれている。

表紙と裏表紙のデザインはこれからか？

事務局：はい。

会 長：デザインは非常に大事である。それによって手に取ってもらえるかどうか左右する。

3. その他

人権擁護に関する施策の基本計画 進捗状況調査について（資料3～4）

事務局：資料3・4で説明

委 員：事業が多岐に渡っている。こうした調査は大変なのでは？

事務局：事業にもよるが、けっこう大変である。この調査を行うことで、自分たちの業務に対して、人権意識をもって取り組んでもらうことも重要な目的である。

会 長：評価をしてもらうことによって、人権への意識付けをしてもらうということか。

この調査の期限は？

事務局：年度はじめ頃に各課に対し前年度に関する調査をし、結果を取りまとめ、第1回のこの審議会でお諮りする予定である。

会 長：承知した。このまま進めてください。

その他何かあるか？

事務局：パートナーシップ宣誓制度について、今年4月に米原市が開始したことで、近江八幡市は県内3番目の開始となった。滋賀県や長浜市でも現在導入に向けて動いており、その他いろいろな自治体で、全国的に見ても結構な勢いで導入の動きがあり、性の多様性について周知が進んでいる。当市でも2月の市民講座でテーマに取り上げた。当市での実際の制度利用者はまだいない。

会 長：近江八幡市がこの制度を導入したことは、性的マイノリティを支えるということを掲げている。法的に同性婚が認められたら自治体が個々に行わなくてもよいものなのだが、なかなか法的に成立するのは難しい。引っ越しをしたらまた登録しなくてはいけないし、今後は広域連携も必要になってくるだろう。近江八幡市はできることはしている。

委 員：4月1日から改正障害者差別解消法が施行される。行政だけでなく民間事業者にも合理的配慮が義務化されたが、新聞にも載っていないような状況である。障がい福祉課に聞いたところ、商工会議所に出向し説明を行うとのことであったが、人権・市民生活課は障がい福祉課と合同で何か行う予定はあるか。

事務局：特に合同で何かを実施する予定はないが、当課で講演会等を行う際に、障がい福祉課の協力を仰ぐ等は考えられる。基本的には「青空Ⅶ」を使って啓発を進めたいと考える。

委 員：合理的配慮について、言葉だけで理解が追い付いていない。

会 長：簡単にいうと、障がい者から要望があったときに、しっかり対話をして出来る限り調整していこうとするもの。最近、イオンシネマで車椅子利用者が「使用しないで」と言われたことがインターネットで炎上した。イオン側は謝罪したのだが、ネット上の意見では「わがままではないか」とイオン側を擁護する意見が多かった。しっかりとした啓発が必要。

委 員：以前は広報に毎回人権擁護の記事が載っていたが今はない。なぜ？

事務局：昔連載していた時期があったが、今は市の情報量が多く紙面が確保できない。広報他ホームページ等で啓発を進めていきたい。

会 長：それでは、第2回の審議会での協議事項は全て終了とする。

事務局：会長ありがとうございました。また、各委員の皆さまにもたくさんのご意見をいただきありがとうございました。最後に当課課長からご挨拶します。

4. 閉 会